



関西支部報

http://www.jackansai.com

日本山岳会と関西支部、組織の変化と明日へ問いかけ

辻 和雄

日本山岳会は、会員数4,833人(2018年6月23日現在)を擁する日本最大の山岳会です。2012年4月に公益社団法人となったことはご存じかと思います。各会員は、各地に設立された支部(現在33支部)に所属してクラブライフを過ごしています。

会員の皆さんの中には、単一の山岳会としての「日本山岳会」と、都道府県毎に山岳会を束ねた「都道府県山岳連盟・協会」及びその上部団体である「日本・スポーツクライミング協会(旧・日本山岳協会)」を混同されている方々が時折見受けられます。

日本山岳会そのものは以前、東京都山岳連盟に所属していたのですが2014年に退会する一方、各支部は支部の事情により都道府県山岳連盟に所属したり、所属していなかったりマチマチなところがややこしさを助長しているようです。我が関西支部は歴史的経緯から大阪府山岳連盟に所属しています。なお、日本山岳会は1905(明治38)年に設立された日本最初の山岳クラブであることから、英語名称は“The Japanese Alpine Club”(略称: JAC)としています。日本山岳・スポーツクライミング協会の英語名称は、“The Japan Mountaineering and

Sport Climbing Association”(略称: JMSCA)です。

さて、各支部には本部との連絡役として事務局長が置かれ、私は関西支部の事務局長として本部との情報連携の窓口担当となっています。時折会員の皆さんから、事務局長の名称から関西支部の事務の総まとめ役と勘違いされ、関西支部の事務処理全般について問い合わせを受けることがあります。分かる範囲でお答えしていますが、私には事務処理全般についての指示命令の権限もなく、熟知している訳でもありません。従って関西支部の運営に関する問い合わせは、各担当の役員又は委員の皆さんに聞いていただくことが最も適切です。ただ、本部から支部への指示や連絡があると、関西支部の該当する役員や関係者に伝え、内容により返答を行う必要があります。必然的に広範囲に理解を深める必要があり、場合により各役員の皆さんと協議する必要があります。

関西支部の組織は、公益社団法人化により、これまで以上に透明性・公益性が求められ、報告書類も含め事務処理が増大し複雑となってきたことから、2017年度総会にて支部活動の運営者(役員)と事業の実施者(委員)とに分けて活動しています。すべてボランティアで活動して

山の日関連行事

著者と語る会のご案内

日時 11月11日(日)14:30~16:00(受付14:00~)
 講師 加藤芳樹氏(関西支部所属 会員番号14413)
 演題 「ガイドブックのあれこれ」
 会場 大阪凌霜クラブ セミナールーム
 大阪市北区梅田1-3-1 大阪駅前第一ビル11階
 申込み・問合せ 久保和恵
 e-mail: unclatorys05-kazu@nifty.com
 電話: 090-2598-9226

※会場の都合上、11月10日までにメール又は電話でお申し込みください。

目次

日本山岳会と関西支部、組織の変化と明日へ問いかけ	辻 和雄	1
関西支部県境縦走終了	黒田記代	2
支部山行報告		2
▽茶臼山▽西峯▽小森トンネル▽水葉山▽拳原山▽花折峠▽天ヶ岳▽小森トンネル▽新宮▽延暦寺▽三井寺▽亀谷山▽天狗森▽釣瓶岳▽湖南アルプス▽多子津山▽赤堂山▽音羽山▽石山		9
新入会員・会友紹介		9
本山寺山森林づくりの会活動報告		10
台湾の高峰と溪谷(第2回) 茂木完治		11
会務報告		12
支部山行計画		16
自然保護行事		18

いるのですが、実務作業や課題が多く、役員・委員の皆さんの負担は多大なものがあります。

一方、会員の高齢化に伴い関西支部の諸活動への参加者が近年減少してきています。そこで会員の皆さんにお願いしたいのは、今一度関西支部の活動に関心を持ち、各種活動に参加していただくと共に、本部の提唱する「オトモダチ作戦」により新しい会員を勧誘・紹介していただき、活性化していただきたいのです。

3か月毎に「関西支部報」を発行していますが、この支部報の発行は広報委員会の皆さんの尽力で発行されています。関西支部の多彩な活動結果の報告と共に、今後3か月間の活動計画が掲載されています。会員の皆さんを繋ぐ大切な会報を活用していただき、関西支部の活動

状況の確認とご自身の参加できる山行や行事がないか今一度確認して下さい。

また、関西支部では、登山教室(初級・中級・上級)を開講し、主として会員外の皆さんへ毎月登山技術の講習を行っています。近年受講者が固定化しており、会員の皆さんの知人・友人で登山を始められた方々や登山技術を高めたい方々にご紹介いただければ、新しい方々と関西支部の接点が生まれます。

支部の活性化は、必然的に皆さんの関西支部活動への関心を高め、満足度も高めて行くものと思います。歴史と伝統のみに安住せず、一皮むけた関西支部の新生にご尽力いただくよう切に望む次第です。

関西支部県境縦走終了

関西支部山行委員長 黒田記代

関西支部80周年記念事業として実施した「関西支部県境縦走」は、兵庫・岡山県境の真尾鼻を2013年1月19日にスタートしました。兵庫・岡山県境から兵庫・鳥取県境と縦走し、2014年2月23日に日本海の浦富海岸・汐吹岬に到着し、岩美町陸上(くにがみ)の東浜にて真尾鼻で汲んだ瀬戸内海の海水を流し、日本海の海水を汲み直しました。

引き続き、同年3月21日から日本海の兵庫県・京都府境からスタート。ここでも瀬戸内海の水を流し、新たに日本海の水を汲み直しました。兵庫県・京都府境から大阪・京都府境、大阪府・奈良県境から和歌山・奈良県境と縦走し、県境が熊野川の中となるので和歌山県熊野川町九重からタクシーで新宮に出て、2016年12月24日太平洋に到着。新宮の海岸で日本海からリレーしてきた水を流しました。

更に、2017年2月11日から奈良・三重県境縦走を、名張市の梅ヶ丘住宅地から県境稜線に上がり再スタート。奈良・三重・和歌山(飛地)の三県境となっている七色貯水池湖畔に下り立ちました。ここから和歌山・三重県境は太平洋への出口である新宮まで川の中となるので、奈良・和歌山(飛地)県境を茶白山まで辿る。この先は、北山川が県境となって熊野川から太平洋に至るので徒歩での県境縦走はここで終了。2018年5月20日、川中となっている奈良・三重県境、和歌山・三重県境の北山川・熊野川(田戸～九重～志古)をジェット船で辿り、関西支部県境縦走を完遂しました。

5年5ヶ月、参加者延べ1003名の関西支部県境縦走は、無事終了しました。参加して頂きました方々には感謝申し上げます。有難うございました。

支部山行報告

支部山行18-3 関西支部県境縦走
茶白山～西峯～小森トンネル西口

山内幸子

4月21日(土)晴

熊野市駅前を6時半にタクシーで出発し、四ノ川林道に入り茶白山登山口に向かう。当初、雨谷山から登る予

定だったが、林道が通れたので茶白山北東尾根から取り付くことになった。タクシーを降り、四ノ川を渡りアンザイレンして県境尾根に取り付く。半年振りの県境縦走参加で、いきなりの急登だったので体が慣れず緊張しながら登って行く。岩場が連続する厳しい尾根を、ロープの基本操作を忘れてあたふたしながらの登高であった。シャクナゲの多い尾根だったが、今年は花芽が少なく



テント場にてくつろぐ 写真提供：重廣恒夫

昨年の花柄も残っていない。しかし、ツツジ類はムラサキヤシオ、ヒカゲツツジ、ミツバツツジ、ヤマツツジなどが満開で新緑と共に目を楽しませてくれた。少ないがシャクナゲの花も咲いており、藪尾根を越えてマキ、アセビなどに囲まれた茶白山(1181m)に到着。狭い切り開きで鳥の声を聞きながら木の間から周りの山を眺める。杉の大木やヒメシヤラの間をキツツキのドラミングを聞きながら雨谷山に続く尾根と別れ鞍部まで下ってテントを張る。コノハズクの鳴き声を聞きながらシュラフに入る。

4月22日(日)晴

3時起床、4時半過ぎにヘッドランプを点けて歩き出す。足元を確かめながらゆっくり登って行く。県境はP993で西に向かい立合川に沿って南下し、北山峡に出てそのまま北山川を下り熊野川(新宮川)に合流する。P993から県境離脱後の道はシャクナゲの花芽は少なく固いが、ミツバツツジは満開である。多くの山名板のある西峯(1123m)を通り小森ダムに向けて下っていく。

西峯から少し下った杉林の中に真新しいモノレールが出現する。南東尾根に沿って付けられたモノレールの横を激下りして行く。長い下りで嫌になる頃にモノレールから離れ、満開のムラサキヤシオなどが咲く岩場の多い緩やかな尾根筋になり、小森ダムが見え、お地蔵様のある分岐から巡視道を西に進み小森トンネルの西口に下り立った。

【コースタイム】

21日 四ノ川林道茶白山登山口07:23~09:37キャンプ適地~11:55巻道終了~12:45 P 934~15:05茶白山(点名立合川)~15:50 雨谷山分岐~16:26 テントサイト

22日 テントサイト04:40~05:00県境離脱~06:21 P926~07:17 P1084~08:05西峯(点名西ノ峰)08:17~08:55 P886~10:04 P 502 10:20~11:26小森トンネル西側

【参加者】

重廣恒夫 黒田記代 山内幸子

計3名

**支部山行18-4 4000山グランプリ
尾谷峰~水葉山~庄司峰~拳原山**

関戸京子

4月28日(土)晴時々曇

金沢駅からタクシーで熊走町の犀鶴林道に向かう。山は新緑が鮮やかで、斜面には雪が残っている。途中、残雪が林道を塞いでいたので車を降り、しばらく林道を歩く。昼食後、送電線巡視道に入り尾谷峰(898.7m)を経て水葉山に向かう。藪漕ぎは初めてであちこちを枝や蔓に引っ掛け、力任せに引っ張っても進めない。急な尾根を下ると、ブナ林が広がる水葉山(891m)のピークとおぼしき雪の台地に着いた。ここから、アイゼンを履いて進路を南にとり、稜線に沿って下る。残雪が少なくなると、木の枝が絡み合った深い藪が前進を妨げる。キャンプ地手前の細い急な尾根はアンザイレンして通過する。P912手前の乾いた平坦地にテントを張る。残雪の雪融け水が取水でき快適だ。

就寝後テントの周りでガサガサと音がして、昼間見た熊の糞を思い出し、なかなか寝付かれなかった。

4月29日(日)快晴

3時に起床、今日は拳原山までの往復なので不要な物はテントに置いて行く。912mのピークまで、空が白み始める中を快適に登る。東に下り始めると手強い藪が続く、庄司峰(986.6m)からの細い尾根はアンザイレンして通過する。コ



高いところに赤テープが 写真提供：重廣恒夫

ルからは残雪を拾って拳原山に向かうが、陽光を受けたブナの若葉が爽やかである。辿り着いた頂上(946m)に標識は無かったが、ブナに赤いテープが巻きつけられていた。テープは頭上5~6mのところにあり、積雪の深さが押し量ら

れる。帰路は気温も上がり汗だくになった。

水葉山までの移動を止めたので時間に余裕ができ、ロープワークのトレーニングで時間を潰した。

4月30日(月)快晴

今日も3時起床。椿の枝を掻き分け細い尾根を下った後、ロープを外して水葉山へ向かう。山頂は踏まずに、北尾根をP763に向かって下る。P559、P466と藪漕ぎしつつ進む。少しずつ藪が粗くなり、花期を過ぎたカタクリの花を見て送電線の下に出た。鉄塔からは巡視道を下る。周辺にはイカリソウなど春の花々が咲いていた。林道からは登ってきた山々が望めた。熊走公民館到着後、タクシーを呼んで帰途についた。

【コースタイム】

28日 タクシー降車地10:58~11:42巡視道取付~12:39 P842~13:32P898.8~15:42水葉山~17:24テントサイト

29日 テントサイト04:39~04:57P912~06:05庄司峰~09:01拳原山~12:17庄司峰~14:27テントサイト

30日 テントサイト04:30~06:34水葉山~07:18P763~09:13P559~10:05送電線~10:46林道合流地点~11:30熊走公民館

【参加者】

重廣恒夫 山内幸子 関戸京子 計3名

支部山行18-5 しっかり歩こう
花折峠~ナツチョ~天ヶ岳

関戸京子

5月12日(土)快晴

集合地の堅田駅前バス停には、登山スタイルの老若男女の長蛇の列ができていた。快晴の登山日和である。臨時バスが増発され、全員座れてホットした。

花折峠口バス停からアスファルトの道をたどり花折峠へ、ここからミタニ峠を目指して山道にはいる。赤い山つつじが新緑の中で鮮やかだ。今回は“一部ルートに迷いやすいところがある”“バスの最終時刻に間に合わなかった場合は大原までの歩きになるので、ヘッドランプ必携”と事前に告知されている。各々がGPSや、スマートフォン、地図などで何度も立ち止まってルートを確認しながら、「遅れてはならじ」と一生懸命に歩いた。

花折トンネルを越え、西下立山(812m)まで登る。ここからやや急な下りとなり、稜線に沿っていきつ戻りつしながらもルートを外れることなくミタニ峠、ナツチョ(天ヶ森)の頂上に到着。「大原の森10名山」(812.5m)の標識があり、木々の間から下の山が見渡せる。ここで昼



30年前と大いに違っていた天ヶ岳 写真提供：前田正彰

食をとった。

しばらくは稜線に沿って進む。登山道も踏み跡も定かではない。方向を見失いそうになっていたら、“養鶏場がある、こっちだ”の声で現在地を割り出すことができた。“養鶏場にしてはいやに静かだ(実は埋蔵文化財の保管倉庫だった)”などと言いながら建物の横を通り、国道477号を横切って山の斜面に取り付く。でも予定のコースを行けば時間切れオーバーになることは明らかなので、国道に戻ってハイキングコースで天ヶ岳に行くことにした。16時過ぎに到着した天ヶ岳山頂(788m)では“昔来たときは眺めがよかった”とか、あまりの変貌ぶりに30年ぶりや40年ぶりの仲間は驚きの声を上げていた。帰りはシャクナゲ尾根を通らず、寂光院から大原へ下りた。この辺りは京都の山の風情が漂っていて好きな場所だ。

【コースタイム】

花折峠口BS09:30~11:00西下立山~11:34ミタニ峠~12:30 ナツチョ12:58~14:27前ヶ畑峠~15:15国道477号再合流~16:00天ヶ岳~17:20寂光院道分岐~17:48寂光院~18:05大原BS

【参加者】

山内幸子 新本政子 小黒節郎 関戸京子 永井和 野口恒雄 橋本圭之輔 前田正彰 水谷透 計9名

支部山行18-6 県境縦走58
小森トンネル~田戸~志古~新宮

横山規江

2013年1月19日、兵庫・岡山県境の真尾鼻から始まった「関西支部80周年記念事業県境縦走」は、今回で和歌山県新宮に到達して約1000kmの踏破を終えた。

5月19日(土)晴

18日、熊野市駅近くに前泊。19日朝、村営バスでおく

とろ公園観光センター、更に筏専用バスで北山川筏下り乗場へ。オトノリから小松までは、4人の筏師の見事な權さばきで兩岸のカワサツキに見とれ、冷たい飛沫が気持ち良い70分間だった。オトノリの語源は、危険な筏に跡継ぎの長男は乗らないで、弟が乗るからだそうだ。夕食後の歓談で、この記念すべき県境縦走も最終回を迎えるに当たり、各々一番の思い出などを語った。5年を超える行程は大変であったが、感動的な景色、日生の牡蠣鍋や津居山のカニすきなど話題は尽きなかった。何故か最終回だけ参加の私が紀行文を書くことになり、恐縮している。北山村の柑橘ジャバラジュースで「邪」を「祓った」。

5月20日(日)晴

いよいよ県境縦走のラストウォーク、今日も五月晴れた。その青空に響き渡る、怒り？物悲しさ？ともいえぬ犬の鳴き声が最終の準備体操に微笑ましく花を添えてくれた。

朝の柔らかい日差しを受けた新緑の山々の見事な映り込みに、川の深さを感じながら小森トンネルへ。小松から田戸の「筏師の道」は、下流から山峡の自宅まで歩いた筏師に思いを馳せながら落葉を踏みしめた。予定よりかなり早く田戸に到着したので前便のウォータージェット船に乗り込んだ。志古まで40分程の乗船、心地良い揺れとスピードで瀕峡巡りの眺めもそこそこに寝入ってしまった。志古からバスで最終地新宮に到達して最終章を終えた。

瀬戸内海の海水を真尾鼻で汲み日本海に流し、日本海で汲んだ海水は奈良・和歌山県境を縦走して太平洋に流した。その時新宮の海岸で汲んだ海水は、奈良・三重県境を通過して再び新宮に還ってきた。関西支部県境縦走の皆勤賞は、他ならぬこのリレー海水だそうだ。語尾に「のし」をつける方言を看板で多く見かけたからか、車中でも「…のし」の会話を弾ませながら帰途についた。

【コースタイム】



道の駅「おくとろ」にて 写真提供：重廣恒夫

19日 熊野市駅09:10(バス)10:10おくとろ温泉(バス)11:00オトノリ(筏下り)12:20小松(バス)12:50おくとろ温泉

20日 おくとろ温泉05:58~06:45小森トンネル~07:23小松展望台~10:18東野峠~11:08田戸(ジェット船)12:15志古13:43(バス)14:21新宮駅

【参加者】

重廣恒夫 新本政子 久保和恵 黒岩敦子 黒田記代
松仲史朗 村田かおり 山内幸子 横山規江 計9名

支部山行18-7 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く9
近江路コース 延暦寺~夢見が丘~三井寺
魚津清和

5月24日(木)晴

延暦寺バスセンターから歩き始めた近江路コース(幻の大津京を探るみち)は、大改修工事中の根本中堂からケーブル延暦寺駅に向かって舗装路を下る。大辨財天、松林院を越えると静かな登山道となり、緩い斜面を右に左に方向を変えながら桜茶屋に到着する。昼食後は、夢見が丘まで更に登下降を繰返しながら進む。足並みが揃わず一時間程掛ったが、眼下に広がる琵琶湖、大津市街の眺めが登り下りの疲れを一瞬にして忘れさせてくれる。休憩後は、暫く北東に進み一気に南下。時折、澄み切った水辺にはクリン草の花が迎えてくれ一息付きながら歩を進める。堰堤を幾つか越え高度を下げながら弥勒堂跡分岐で後続者を待ち、滋賀の大仏・百穴古墳群に立ち寄りながら滋賀里一丁目分岐に到着。

ここで、直進して京阪滋賀里駅へ下山する組と三井寺方面に行く組とに分かれ、右折して南進し南滋賀町廃寺跡に立ち寄る。ここは、大津京跡の探索過程で発掘された天智朝当時の寺院跡で崇福寺・園城寺前身寺院・穴太廃寺とともに大津京をめぐる四大寺院のひとつと考えられている。廃寺跡から10分程で近江神宮に到着。境内を散策後、三井寺に向かって自然歩道を南進するが、市街地の生活道路と交わり道標は殆ど無く、何度となく地図を確認しながら立ち止まる場面があった。皇子山古墳を経て最終地三井寺(園城寺)に予定より一時間程遅れて到着し、山門前で解散。東海自然歩道の近江路コースを終える。

【コースタイム】

延暦寺BC09:56~10:24ケーブル延暦寺駅~12:01桜茶屋
12:28~13:35夢見が丘14:05~14:30弥勒堂跡分岐~15:06
滋賀里一丁目分岐~15:34近江神宮~16:46三井寺~17:01



夢見が丘より琵琶湖を背景に 写真提供：魚津清和

京阪三井寺駅

【参加者】

久保和恵 山内幸子 魚津清和 新本政子 浦上芳啓
 上田典子 金井健二 瓦葺邦夫 田頭夏子 戸島泰三郎
 中島隆 廣瀬健三 木村早苗 岐部明弘 小林三喜男
 田中アキエ 中田栄 蓮川博凡 播戸日出生 横山規江
 会員外2 計22名

支部山行18-8 4000山グランプリ
 四国の山 亀谷山・天狗森

松村文子

5月26日(土)曇

午前6時、二台の車で徳島市を出発する。登山口に至る林道がどこまで通行できるかを気にしながら進む。ところどころ落石もあり、外に出て大きな石を退けたり、目視して道路の状態を確かめる。

これ以上進むのが無理と思われるところで車を止めて歩き出す。しばらく歩くと谷沿いとなり、やがて林道終点となる。さらに谷沿いに歩き、右岸の斜面に取り付き支尾根の稜線に出る。最初のピーク(1014m)で向きを南に変え、鞍部から頂上を目指す。展望も開け、木々の緑にも新緑の名残がある。1046mのピークに到着。少し下り40m程登り返して亀谷山山頂(1082m)に至る。山頂で20分程の昼食タイムをとる。下山は、元来た道を鞍部手前まで下りる。山頂に向かう時、下山路として確認していた左手に張り出した尾根道を谷目指して下降。ここには確かな踏み跡があった。30分程で入山時の谷に下り車の所へ戻る。「やなせの湯」で汗を流した後、いつもより早く宿に入り落ち着く。

5月27日(日)晴

朝食後、宿を出発する。昨日とは異なり晴れている。

今日も無事に車で林道を登山口まで走ることが出来るかどうか心配であったが、何とか登山口に辿り着けた。

準備運動後スタート。ジグザグに登山道を進み高度を稼ぐ。急だった道も緩やかになり広い台地上の尾根の一角に出た。木々の背も低くなり地図上の1102m地点で急に展望が開ける。ほぼ平らな台地を歩き、天狗森山頂が近づくとつれて急坂になる。もう山頂かと思われたが、三角点(1295m)は、さらに奥であった。この三角点は欠けたところが無かった。ここで昼食とする。ガクウツギをはじめヒトリシズカなどの山の花、ツツドリ、アカシヨウビン、ホトトギス、ウグイスなどの鳥の鳴き声に心が和む。登る途中でも山ツツジが美しく咲いていた。昨日と違い天気恵まれ新緑に心が洗われる山行であった。

下山は、登ってきた道を戻り一時間程で登山口を下り立つ。昨日入浴した「やなせの湯」で汗を流し、徳島へ。徳島駅前解散した。徳島支部のお二人には大変お世話になりました。感謝です。

【コースタイム】

26日 林道駐車地09:51~10:54方向転換点~11:29 P 1046
 ~11:53亀谷山~12:32下降点~12:57合流点~13:22駐車地
 27日 天狗森登山口07:17~08:31 P 1002~09:28天狗森09:
 50~10:50登山口

【参加者】

新本政子 岡田輝子 黒田記代 重廣恒夫 豊田哲也
 前田正彰 村田かおり 松村文子 (四国)尾野益大 家
 段勝好 計10名



亀谷山の山頂にて 写真提供：重廣恒夫

支部山行18-9 比良山を歩く
 釣瓶岳1098m

永井 和

5月27日(日)快晴

釣瓶岳はY字型をした比良山系の左の角にあたる、武奈ヶ岳北稜に位置する山で、比良山系で6番目の標高をもつ。

近江高島駅に集合し、コミュニティバスで畑まで行く。びっくりするほどの快晴で、バスの車窓からは、左手に岳山から寒風峠までのリトル比良の山並み、さらにその続きのヤケオ山から釈迦岳・カラ岳にいたる稜線が、右手にはボリュームたっぷりの蛇谷ヶ峰から釣瓶岳にいたる稜線がよく見える。釣瓶岳のさらに奥には武奈ヶ岳が頭をのぞかせている。

終点で下車し、横谷峠に向かう。ちょうど田植えが終わったばかりの棚田が広がっていた。ちょっとした広場で準備体操をすませ、獣害予防のゲートをくぐって、安曇川流域の村井に出る広域林道を横断し登山道に入った。

横谷峠までの登山道は、昔から朽木と琵琶湖側をむすぶ交通路であったためか、植林帯の中の九十九折りの明確な道で歩きやすい。しかし、峠に着くまでけっこう長く感じた。横谷峠からは、新緑が目にはやさしい広葉樹の自然林となり、心が洗われる気がする。地蔵峠をすぎ、少し登った三角点(地蔵山789.7m)で昼食をとった。

釣瓶岳へは予定よりも20分ほど早く到着した。ここからは縦走路を外れて、近江高島市と大津市の市境界をなしているナガオを下る。はじめのうちは、尾根の幅も狭く、踏み跡もあったので、苦労もなくどんどん下りていったが、下部になるとルートを見つけるのに苦労することになる。縦走路から八洲の滝の大摺鉢に向かう広谷登山道は、ナガオの下部を横切っている。この合流点をどこにとるかが問題である。最初われわれは、市境界に忠実に尾根をたどり、標高870mの小さなコルで登山道に合流するつもりだった。しかし、P991あたりまで下ると、樹林の中の踏み跡もはっきりせず、下草が茂っているため、尾根の芯をとらえるのが難しくなり、傾斜の強い市界尾根を忠実にトレースするよりも、より傾斜のゆるい尾根を南進するほうがよいという判断をしてショートカットするルートを選択した。

合流したあとは、迷うこともない登山道をたどって大摺鉢に出た。小休止のあと、八池谷を渡渉したが、鎖場の流木に足をかけて渡ろうとしたところ、足がスリップして転倒し、水に漬かってしまった。流れは急だったが、鎖があったので、幸い流されることはなかった。しかし、こんなところでスリップするとは、われながら情けないかぎりである。

ガリバー旅行村の手前で、砂谷に入り、踏み跡をひろいながら林道に出て黒谷まで車道歩きとなった。バスを



比良山系地蔵山三角点にて 写真提供：小黑節郎

待つ間に、近くの喫茶店で、夕暮れの比良の山並みを見ながら冷たいビールで乾杯した。なんともいえず美味だった。

【コースタイム】

畑BS09:49~10:49横谷峠~11:20地蔵峠~11:27地蔵山11:57~12:40イクワタ峠~13:24釣瓶岳~15:00登山道合流~15:36大摺鉢~16:14砂谷入口~16:25八池谷林道~17:00黒谷BS

【参加者】

久保和恵 山内幸子 小黑節郎 関戸京子 辻和雄 永井和 松仲史朗 黒岩敦子 計8名

**支部山行18-10 しっかり歩こう
湖南アルプス**

野口恒雄

6月3日(日)晴

下車予定のバス停を通過し、停留所を3つほど過ぎてから慌てて降りるスタートの一幕あり。上関の登山口に戻り、新茂智神社前で準備体操して出発。

尾根に出ると風通しもよく心地よい。林道を横断して急登すると笹間ヶ岳山頂(433m)だ。三角点横に鎮座する八畳岩に登って北面に展開する比叡醍醐山地の山々や比良の蓬莱山を眺望する。尾根道を辿って矢筈ヶ岳に向かう。風化した花崗岩質の尾根道は低木の疎林で、お日様の照り返しもキツク汗が滲みだす。南面の大谷河原方面からはハイカーの歓声も聞こえる。御仏河原で富川道とクロス、樹林帯の尾根道をだらだらと高度を上げ、出合峠で一息入れてから矢筈ヶ岳山頂(562m)に到達。これも最後は急登だったけど頂上の展望はなし。

予定のコースタイムより遅れていることもありサッサと昼食を済ませて出発。不動寺参道に合流したところで、

小生遅れぎみとなり待機することとした。胎内くぐりなども楽しんだ太神山(600m)登頂組が戻り、合流して残る堂山めざして迎不動へ下る。気温も上がり、不動橋からは舗装道路の下りとなると何となく下山気分充満、そんなわけで迎不動で4名離脱。足の揃った6名が堂山へ向かう。当然、小生離脱組。堂山組を見送ってアルプス登山口15時25分着。堂山組は順調に歩を進めて堂山(384m)登頂。行程の遅れも取り戻したが、予定のバスには僅かの差で乗れなかったそう。



湖南アルプス・堂山 写真提供：豊田哲也

【コースタイム】

新茂智神社09:10～10:10笹間ヶ岳～12:00矢筈ヶ岳12:25～13:10参道合流～13:40太神山～14:40不動橋～14:55迎不動～15:20鎧ダム上部～16:00堂山～17:00堂山分岐～17:10アルプス登山口BS

【参加者】

山内幸子 小黒節郎 久保和恵 関戸京子 豊田哲也
中山勝也 野口恒雄 松仲史朗 水谷透 黒岩敦子

計10名

支部山行18-11 4000山グランプリ 多子津山～月ヶ原山～赤堂山

重廣恒夫

昨年7月にもトライしたコースだが、「大雨洪水警報」発令中の豪雨に見舞われP865で敗退した。この時は月ヶ原山の登山口近くまでタクシーで入ることができたが、今回は中河内で降ろされてしまった。降車地から2時間近く歩く小矢部川沿いの林道は、昨山下山時に鉄砲水で流失していたのを確認していたが、100mにわたって林道が消失していた。1年間に何度も増水で削られたようで、改めて自然の猛威を思い知らされた。

6月16日(土)曇

月ヶ原山に向かって付けられた登山道を辿る。P865までは昨年歩いた道だが、その後入山者があった痕跡はあまりない。それでも多子津山と月ヶ原山を結ぶ稜線のP1120には予定より早い時間に到着することができた。荷物をデポして多子津山に向かうも、ほどなく踏み跡が消失して藪漕ぎとなる。石川県側に少し下ると不明瞭な痕跡を見つけ、少しは気が楽になる。さらに藪を漕いで多子津山ピーク(1311m)に到達するが標識はない。P1120に戻り月ヶ原山に向かうが、雨露で全身を濡らし重荷を担いで藪漕ぎに疲れ果てピークの手前の窪地でテントを張る。あまりの藪の濃さにいつものように沢筋に下って取水することはできず、重い目にはあったが水を担ぎ上げたのは正解であった。

6月17日(日)晴

夜半には月も出て、天気は回復傾向である。それよりも気になるのは夜明け前からの子熊の鳴き声である。笛を鳴らしたり、樹を叩いたり、大声を上げるが、遠ざかる気配もない。しびれを切らして迂回して頂上に向かう。20分程で到達した月ヶ原山(1169m)の頂上は三角点のある平坦地で、昨日無理をしてもここまで来なかったことが悔やまれる。ここから赤堂山までは道も明瞭で快適に進む。赤堂山(1059m)からの下山は予定を変更して、記録にあった北東尾根に取ったが大失敗であった。最近では登山者も少ないのか歩きはじめは踏み跡もあったが、100m程下ると生い茂った藪にルートは隠れ、おまけに急降下となり最後は10m5ピッチほどの懸垂下降でデブリの残る小矢部川支流に下り立った。

【コースタイム】

17日 中河内07:02～08:56月ヶ原山登山口09:20～10:09P865～11:29P1120～14:02多子津山～15:50P1120～16:45



デブリに下り立つ 写真提供：重廣恒夫

幕営地

18日 幕営地04:32~04:52月ヶ原山~06:18P 1129~07:52
赤堂山~11:54林道終点~12:50中河内

【参加者】

黒田記代 重廣恒夫 計2名

支部山行18-12 ゆるやか山行東海自然歩道を歩く11
音羽山コース 蟬丸神社~音羽山~石山
田頭夏子

6月21日(木)曇

先日の近江路コースに続き、2回目のゆるやか山行参加です。「音羽山今朝越え来ればほととぎす梢はるかにいまぞ鳴くなる」紀友則など、音羽山は古来和歌にも詠まれてきた。

前日は雨の一日だったので心配したが、朝から雨も上がり、京阪京津線大谷駅に集合した。近くにある老舗「かねよ」からの鰻のいい匂いを嗅ぎながら、蟬丸神社を横に見て東海自然歩道に入る。逢坂山歩道橋を通過して音羽山登山口へ入ったところで、久保さんの声かけに合わせて準備体操を行う。

雨上がりの滑りそうな山道は、やがて階段となり、一段一段汗を拭き拭き登っていく。途中で水分補給しながらさらに登って行くと、数百段もあった階段も終わり、ゆるやかな稜線に出た。その後、路傍休憩舎でトイレ休憩。とても蒸し暑い。その後30分ほどで音羽山(593m)二等三角点に到着。展望が広がる。比叡山や遠くの山々が霞んでいた。鉄塔が金網で囲まれその後方に千頭岳が望めた。昼食をとり集合写真。そしてパノラマ台へ向かう。うぐいすが鳴き、時々吹く風がありがたい。

ここは木々が茂り展望は不十分。下山は岩や根っこがあり、「滑りやすいので気を付けて」の注意を聞き慎重に進む。千頭岳分岐を経て、まるで夫婦のように流れる滝を眺め、沢沿いに下り、国分団地バス停に到着。一部リタイア組と解散したあと、予定していた石山寺へのコースは割愛し、幻住庵跡から瀬田の唐橋に向かった。長い行程だったが、やっとJR石山駅に到着。無事解散した。

【コースタイム】

大谷駅09:27~09:35逢坂山歩道橋~10:59路傍休憩舎~11:25音羽山12:02~12:18パノラマ台~12:46千頭岳分岐~13:29コールポイント休憩地~14:39国分団地BS ~15:25瀬田の唐橋~15:41石山駅

【参加者】

久保和恵 魚津清和 新本政子 上田典子 内田嘉弘



ほっと一息、気が和む 写真提供：魚津清和

嶋岡章 田頭夏子 中島隆 山下政一 岐部明弘 木村早苗 小林三喜男 田中アキエ 中田栄 蓮川博凡 播戸日出生 横山規江 会員外2 計19名

支部山行18-13 4000山グランプリ

7月28日(土)~29日(日)実施予定は、台風12号襲来により中止。8月11日~12日に順延

支部山行18-14 沢登り例会

7月28日(土)~29日(日)実施予定は、台風12号襲来により中止。

「登山文化研究会」参加のお願い

代表 金井良碩

関西支部では、今年度から、「山岳書」「山岳画」「山の音楽」「山の民俗・宗教」「関西岳人伝」の5分野で、調査研究を進めることになりました。また、その結果を一般公開し、登山が持つ独自の強い文化性を多くの人々に訴えることにより、幅広い層からの山への興味を喚起しようとするものです。

なお、本事業に対して、日本山岳会本部より、平成30年度の「特別事業補助金」が会員増強事業として認められております。支部会員、会友の皆さんの積極的なご参加を歓迎いたします。

本事業に興味ある方は、①氏名②会員番号③興味のある項目を記して、関西支部Eメール、または郵送にてお申し出ください。

登山計画書提出の願いを再び

関西支部安全委員会

3月に登山に際しては登山計画書を出していただくようお願いして半年たちました。

その間にも不幸な遭難が後を絶ちません。それも日帰りや軽い気持ちで出かけてというのが目立ちました。それを受けてルールを見直し、書式を改正しました。

- ①個人山行を含む全ての登山や日帰りハイキングも計画書を提出
- ②緊急連絡先(留守本部)は家族でも可-早く異常に気付いてくれる方であれば
- ③提出は出発の直前でも可

- ④やむをえない場合は、手書きでも未完成でも提出可

提出しないよりはずっとましです(どこに行ったかわからないのが最悪)安易に流れず、できるだけ柵目を埋める努力をしてください。

きちんとした計画書を書くというのは、登山への心構えを作ります。下調べして山を知ることができるので、安全はもちろんですが、より豊かな山登りへの第一歩です。

(※提出先に変更はありません p19 参照)

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(4月~6月)

武田壽夫

2018(平成30)年4月5日(木)9:30~15:30

天 候:晴(12時の気温:17℃)

エリア:45林班ろ-03

内 容:人工林の林床整備

- ・切り放し残置木の処理(玉切りと棚積み)
- ・枝打ち
- ・約0.2haを整備

【参加者】 泉家恵子 斧田一陽 小櫃徹夫 倉谷邦雄

武田壽夫 宮本廣 山本國雄 計7名

2018(平成30)年4月16日(月)18:30~20:00

本山寺山森林づくりの会 平成30年度総会

場 所:日本山岳会関西支部ルーム

概 要:

- ・会長挨拶
- ・「日本山岳会関西支部自然保護委員会の活動」の報告
- ・「森林・山村多目的機能発揮対策交付金」に関する連絡
- ・29年度事業報告・決算報告・監査報告、並びに30年度事業計画・予算、森林・山村多目的機能発揮対策事業、役員選任について審議

【出席者】 茂木完治(会長) 斧田一陽(副会長) 石原順子

小櫃徹夫 倉谷邦雄 河野直子 薦田佳一 阪下幸一 武田壽夫 辻和雄 中谷絹子 中村賢三 丸山喜代司 宮本廣 計14名

茶話会(第1回)始めます

予告していました、図書委員会主催の茶話会を支部ルームで開きます。

日 時 9月28日(金)17:30~19:30(出入り自由)

山へ誘ってくれた本、感銘を受けた本、紹介したい本など、または自己研究の発表など5~10分程度のお話。もちろん聞き手に回るのも大歓迎です(飲食物の持ち込み可)。

ご参加くださいますようお願いしています。



2018(平成30)年4月29日(日)9:30~15:30

天 候:晴(12時の気温:20℃)

エリア:45林班に-03(モニタリング調査区とその周辺)

内 容:天然林の整備

- ・過密な常緑広葉樹の除伐、枯損木の除伐
- ・一帯の林床整備と倒木・切り放し残置木の処理
- ・約0.15haの範囲を整備

【参加者】 石原順子 泉家恵子 倉谷邦雄 後藤和子

武田壽夫 宮本廣 山本國雄 (午前中)斧田一陽 計8名

2018(平成30)年5月3日(木)9:30~16:00

天 候：晴(12時の気温：14℃)

エリア：45林班ろ(モニタリング調査区とその周辺)

内 容：林床整備

- ・切り放し残置木の処理(玉切りと棚積み)
- ・枯損木・過密な常緑広葉樹の除伐、枝打ち
- ・自然歩道の巡視と水切り修復
- ・調査区と周辺の0.15haを整備(枯損木や広葉樹は20本を除伐)
- ・自然歩道では「水切り」12~13ヶ所を修復
- ・登山道脇の倒木2本を処理

【参加者】 石原順子 斧田一陽 倉谷邦雄 黒山泰弘
杉本佳英 武田壽夫 宮本廣 山本國雄 計8名

2018(平成30)年5月20日(日)9:30~16:00

天 候：晴(12時の気温：16℃)

エリア：45林班ろ(モニタリング調査区の周辺)

内 容：林床整備

- ・落枝や切り放し残置木の処理(玉切りと棚積み)
- ・里道・作業道の拡幅・補強、自然歩道の巡視と倒木処理
- ・林床整備0.1ha、道は25mの補修を完了
- ・山頂付近の倒木5本を処理

【参加者】 泉家恵子 斧田一陽 倉谷邦雄 後藤和子
杉本佳英 武田壽夫 豊田哲也 中村賢三 宮本廣 山本國雄 計10名

2018(平成30)年6月7日(木)9:30~15:30

天 候：晴(12時の気温：20℃)前日近畿地方梅雨入

エリア：44林班ろ(モニタリング調査区の周辺、並びに溪流上部)

内 容：溪流の崩壊対策、作業地内の指導標設置と林床整備

- ・崩壊対策は現況を確認し「透水型簡易木柵」の構築場所の決定と計測、用材(木材・石材)を集積
- ・残置木の処理(玉切りと棚積み)落枝の整理など
- ・林床整備班は約0.1haを完了

【参加者】 石原順子 斧田一陽 倉谷邦雄 薦田佳一
杉本佳英 武田壽夫 中久保忠伸 宮本廣 山本國雄 計9名

2018(平成30)年6月17日(日)9:30~15:30

天 候：晴(12時の気温：20℃)

エリア：44林班ろ(山腹西斜面と溪流部)

内 容：溪流の崩壊箇所での簡易木柵設置、林床整備

- ・残置木の処理(玉切りと棚積み)、落枝の整理など
- ・一日がかりで「透水型簡易木柵」を概成
- ・林床は0.15haを整備

【参加者】 石原順子 斧田一陽 小櫃徹夫 倉谷邦雄
後藤和子 杉本佳英 武田壽夫 中村賢三 宮本廣 山本國雄 (午後)中久保忠伸 茂木完治 若林朋世 計13名

◆特記

- ①新入会員2名(豊田哲也、中久保忠伸)
- ②(公財)大阪みどりのトラスト協会会報94号の「さともり活動地報告」に当会紹介記事掲載 (以上)

リーダーレスキュー訓練 実施しました

【期 日】 2018年6月9日(土)
【場 所】 京都北山清滝川(夫婦橋~毘沙門橋)
【参加者】 黒田記代 山内幸子 若林朋世 野口恒雄
小黒節郎 茂木完治
【記 録】 周山行のバスに乘車、夫婦橋下車。さっそく清滝川へ下りる。今日の目的は川の渡渉訓練である。ここ数日の雨で水量が通常の倍くらいあり、訓練日和であった。肩組とロープ使用しての渡渉を訓練した。一番確実なのは2人以上で肩組して渡ることである。ロープは逆に致命的になる恐れがあるので、安全なロープ使用方法を訓練した。(記：茂木)



台湾の高峰と溪谷(第2回) 秀姑巒山3808m (2012年11月)

茂木完治



八通関古道の吊橋から雲龍瀑布を望む

11月3日 台北空港に中華民国溯溪協会の陳孔為氏と莊再傳氏が出迎えてくれた。空港から陳氏の車で玉山麓の東埔温泉へ。

4日 依頼していたポーターの予約がされてなく、心ならずも荷物を全部担いで昼前に東埔温泉を出発した。八通関古道は清の時代に東西の海岸を繋ぐ道として開かれ、日本統治時代に八通関に駐在所が建てられたが機関銃まであったそうだから、砦に近かったのだろうか。想定していなかったザックの重さに大汗をかきながら登る。雲龍瀑布の手前で昼食。雲龍瀑布は道の下に80m、上に20mの滝を懸け、すばらしい断崖の峡谷である。乙女滝の先でテントを張った。

5日 まだ暗い中を出発した。緩い登り道で、時々神木と呼ばれる紅檜の巨樹が目を楽しませてくれる。観高から八通関まで新しく大高巻道に変わっていた。従来の2、3倍の時間がかかる辛い道だった。八通関からは荖濃溪沿いの水平道になる。荖濃溪は台湾最長の大河で、1963年2月に関西支部隊が初溯行している。ヘッドランプを

頼りにやっとの思いで標高2900mの中央金鉱山屋に着くことができた。

6日 登りがきつく呼吸も苦しくなってくる。標高3450mの白洋金鉱山屋にザックを置いて秀姑巒山山頂を目指す。岩場もあるがロープを出すほどでもない。頂上から西の玉山は霧で見えなかったが、北の馬博拉斯山3785m(台湾第4の高峰)、南の大水窟山3642mなどが雲海の上に黒々と望見された。すばらしいパノラマを眺めながら台湾の山の大きさを改めて感じた。その晩は風が強くひどく寒い夜だった。

7日 朝起きると雲一つない快晴である。朝日を浴びた玉山連峰がすばらしい。大水窟山に登りたかったが日数が足らず下山することにした。八通関の草原から見上げる玉山連峰はアルペンムードで素晴らしい。この日は観高から1時間下った対関の派出所跡でテント泊。

8日 来た道をゆっくり下り、東埔の手前の茶店で愛玉と呼ばれるゼリー風の甘い碗をいただく。喉に沁みるような美味さだった。

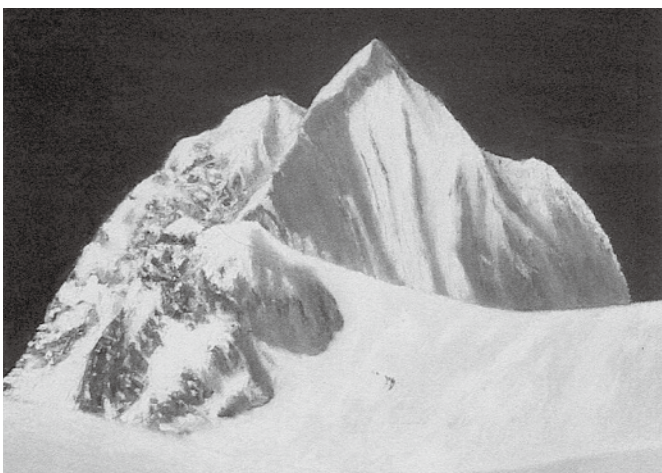
9日 彰化県登山協会の黄孟宗氏を表敬訪問。夜は台北で溯溪協会が歓迎の宴を開いてくれた。

10日 溯溪協会の張麗雲氏、呉牡丹氏の案内で観音山616mに登る。淡水河の河口近くにある山で、台北空港から台北市に入る時に西に見える独立峰である。頂上から淡水河を見下ろす景色は実に素晴らしい。下山後、張氏の弟さんが経営する日本食の幸福食堂へ行った。夜には、葉泰昌氏(台北市体育総会登山協会)が台湾家庭料理に招待してくれたが、幸福食堂で食べ過ぎてお腹がいっぱいだったので食べきれず申し訳ないことをしてしまった。

11日 台北発夕方の便で帰国。

内田嘉弘様(京都滋賀支部)より

「ナンガマリ」(油彩F10号)の寄贈を受けました



【同行】 久保和恵 辻和雄 山内幸子 ほか2名

スケッチ同好会 例会のご案内と報告

第26回 【案 内】

日 時 平成30年11月12日(月)
集 合 JR大和小泉駅改札口 午前 9時15分
(奈良交通バス9:30発に乗車)
行 先 奈良県立大和民俗公園
申 込 平成30年11月5日迄 森沢義信
e-mail : ymorisawa2001@kcn.jp
電 話 0745-74-5488
備 考 詳細は後日、参加者に連絡 昼食持参

【報 告】 第23回比婆道後帝釈国定公園

日 時 平成30年5月9日(水)～12日(土)
【参加者】 浅田博三 岩崎しのぶ 浦上芳啓 岡田
輝子 金井良碩 久保和恵 瓦葺邦夫 薦田佳一
中谷絹子 野村哲夫 播戸日出生 松上美代子 松
村文子 横山規江 計14名



小坊主山からの展望 画：岩崎しのぶ

【報 告】 第24回嶽山頂上「かんぼの宿 富田林」

日 時 平成30年7月9日(月)
【参加者】 浅田博三 岩崎しのぶ 浦上芳啓 岡田
輝子 金井良碩 久保和恵 薦田佳一 嶋岡章 野
村哲夫 播戸日出生 松上美代子 松村文子 森澤
義信 横山規江 計14名



「かんぼの宿富田林」より金剛山を望む 画：播戸日出生

【第3回グループ展 報 告】

平成30年6月25日(月)から29日(金)までの5日間、
大阪市立総合学習センターギャラリーで開催、約220名
のご来場を賜りました。有難うございました。

Room日録 2018年

5月1日(火) 支部報編集作業	6月4日(月) 関西登山史研究会	7月2日(月) 図書整理
7日(月) 支部事務	12日(火) 図書委員会	関西登山史研究会
11日(金) 支部事務	13日(水) 支部報発送	登山教室ブログ打合せ
14日(月) 役員会	役員会	9日(月) ナンガマリ報告書編集会議
16日(水) 会計事務	15日(金) 宅配便受け取り	16日(月) 会計事務
19日(土) 図書整理	17日(日) 会計事務	18日(水) 安全委員会
28日(月) 支部事務	支部事務	19日(木) 登山文化研究会
29日(火) スケッチ同好会打合せ	21日(木) 登山文化研究会	役員会
30日(水) 会計事務	24日(日) 支部事務	30日(月) ナンガマリ報告書編集会議
31日(木) 取材対応	25日(月) 山行委員会	
6月1日(金) 自然保護委員会	26日(火) 受贈品(絵画)搬入	
2日(土) 支部事務	30日(土) 支部事務	

受贈一覧

(2018.5.1～2018.7.31受理分)

安全登山ハンドブック：百万人の山と自然：2018 日本山岳ガイド協会ほか
 鋭峰：Eiho～60年の輝跡～ 大阪鋭峰会
 山岳おおさか No.216別 大阪府山岳連盟
 雑木林 20号改訂版 日本山岳会東海支部猿投の森づくりの会
 「高尾の森」通信 vol.70 日本山岳会高尾の森づくりの会

登山月報 第590, 591, 592号 日本山岳・スポーツクライミング協会
 兵庫山岳 第612, 613号 兵庫県山岳連盟
 日本山岳会支部報
 ・青森支部報 第18号
 ・JAC岩手支部通信 第44, 45号
 ・宮城山岳通信 第12号
 ・宮城山岳 第22号
 ・秋田山岳 No.107
 ・千葉支部だより 第43号
 ・[東京多摩] たま通信 第32号
 ・[山梨] 支部通信 第3期第4号

・岐阜山岳 第83号
 ・[静岡] 不盡 第83号
 ・東海支部報 No.153, 154
 ・[京都・滋賀]支部だより No.130
 ・四国山岳：四国支部報 第5号
 ・福岡支部報 No.30, 31
 ・JAC北九だより 第85号
 ・熊本支部報 第41号
 ・東九州支部報 第81号
 ・宮崎支部報 第65号
 ※発行者による受贈は、寄贈者名の表示を省略。

2018年7月～9月 支部山行計画

※申込は、e-mailで支部宛、もしくは末尾の担当者宛に行ってください。(いずれも締切厳守)

18-23 沢登り例会

「大峰山・白川又川を遡行して弥山」

日 時：10月6日(土)・7日(日)

備 考：詳細は希望者に別途連絡

申込み：9月29日(土)迄 (担当：茂木完治)

18-24 「六甲全縦」トレーニング(4)

「須磨浦公園～鶴越駅」

日 時：10月13日(土)

集 合：山陽電鉄・須磨浦公園駅改札出口 8時半

コース：須磨浦公園駅～旗振山～横尾山～須磨アルプス～高取山～丸山市街地～神鉄鶴越駅

地 図：2.5万分の1「須磨」「前開」「神戸首部」

備 考：約18km 歩行時間約5.5時間

申込み：10月6日(土)迄 (担当：黒田記代)

18-25 4000山グランプリ

「山乗山1048m・津黒山1040m」

日 時：10月20日(土)・21日(日)

コース：津山駅～中和～山乗山～津黒山～津黒スキー場～津山駅

地 図：2.5万分の1「富西谷」「下鍛冶屋」

備 考：詳しくは担当者に問い合わせして下さい

難易度の高い山 テント山行 一般参加可
 山岳保険加入が必須

申込み：10月13日(土)迄 (担当：重廣恒夫)

18-26 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く12

「天ヶ瀬コース」

日 時：10月25日(木)

集 合：京阪宇治駅改札口前(地下)9時

コース：京阪宇治駅～宇治上神社～興聖寺～天ヶ瀬橋
～白山神社～くつわ池～郷之口BS(バス)京
阪宇治駅

地 図：2.5万分の1「宇治」

備 考：約12km 歩行時間約4時間

申込み：10月17日(水)迄 (担当：久保和恵)

18-27 「六甲全縦」トレーニング(5)

「ハーフ全縦(前半)」

日 時：10月27日(土)

集 合：山陽電鉄・須磨浦公園駅改札出口 8時

コース：須磨浦公園駅～横尾山～高取山～神鉄鶴越駅
～菊水山～鍋蓋山～大龍寺～市ヶ原～新神戸
駅

地 図：2.5万分の1「須磨」「前開」「神戸首部」

備 考：約30km 歩行時間約8.5時間

申込み：10月20日(土)迄 (担当：黒田記代)

18-28 しっかり歩こう

「加茂から三上山(473m)・長山(443m)」

日 時：10月28日(日)

集 合：JR加茂駅改札口 8時35分

(JR大阪駅・大和路快速7:22発乗車 乗換な
し加茂駅8:33着)

コース：加茂駅～恭仁宮跡～海住山寺～三上山～大正
池～長山～高雄山～山城多賀駅

地 図：2.5万分の1「田辺」

備 考：地図を見ながら低山地帯約25kmを8時間程度
で歩く 当日の状況によりコースの変更あり
ヘッドランプ必携

申込み：10月21日(日)迄 (担当：山内幸子)

18-29 「六甲全縦」トレーニング(6)

「ハーフ全縦(後半)」

日 時：11月3日(土)

集 合：神鉄鶴越駅改札出口 7時半

コース：神鉄鶴越駅～菊水山～鍋蓋山～市ヶ原～天狗
道～摩耶山掬星台～記念碑台～ガーデンテラ
ス～一軒茶屋～船坂峠～太平山～宝塚

地 図：2.5万分の1「神戸首部」「有馬」「宝塚」

備 考：約38km 歩行時間約10時間

申込み：10月27日(土)迄 (担当：黒田記代)

18-30 比良山系を歩く

「鉢ノ木尾～岳山」

日 時：11月4日(日)

集 合：JR近江高島駅前 9時(畑行9:04発バスに乗
車)

コース：JR近江高島駅(バス)富坂口～鉢の木尾取付
～ピナクル～岳山一般ルート合流～鳥越峰～
見張山～打下城跡～日吉神社～近江高島駅

地 図：2.5万分の1「北小松」「比良」

備 考：歩行距離約10km 歩行時間約5時間

申込み：10月28日(日)迄 (担当：久保和恵)

18-31 関西支部海外山行

「ミャンマー・ビクトリア山登頂とバガン遺跡観光」

日 時：11月15日(木)～11月21日(水)

代 金：268,000円 別途要(燃料サーチャージ・空港
使用料・ビザ関係費用等)

問合先：アルパインツアーサービス株式会社

担当：竹森壮孝(☎06-6444-3033)

18-32 ゆるやか山行 東海自然歩道を歩く13

「鷲峰山コース」

日 時：11月22日(木)

集 合：京阪宇治駅改札口前(地下)8時40分

コース：京阪宇治駅(バス)郷之口BS～御栗栖神社～
鎌磨橋・地福谷入口～大道寺登山道合流～金
胎寺・鷲峰山頂上～原山BS(バス)加茂駅

地 図：2.5万分の1「宇治」「田辺」「笠置」

備 考：約13km 歩行時間約5時間

申込み：11月14日(水)迄 (担当：久保和恵)

18-33 4000山グランプリ

「烏帽子ヶ森1320m・稗巳屋山1228m」

日 時：11月23日(祝・金)～25日(日)

備 考：四国の山

詳しくは担当者に問い合わせして下さい

一般参加可 山岳保険加入が必須

申込み：11月13日(火)迄 (担当：重廣恒夫)

18-34 わんぱく探検

「兵庫県三田市の有馬富士公園」

日 時：11月25日(日)

備 考：詳細は希望者に別途連絡 雨天中止

申込み：11月14日(水)迄 (担当：茂木完治)

18-35 ゆるやか山行 忘年山行

「京都西山 松尾山・嵐山・烏ヶ岳」

日 時：12月6日(木)

集 合：阪急上桂駅改札口前 10時

コース：阪急上桂駅～西芳寺(苔寺)～松尾寺～嵐山～

烏ヶ岳～山上ヶ峰～ JR保津峡駅

地 図：2.5万分の1「京都西南部」「京都西北部」

備 考：約12km 歩行時間約5時間

申込み：11月28日(水)迄 (担当：久保和恵)

18-36 しっかり歩こう

「北摂 布見ヶ岳から大岩ヶ岳」

日 時：12月8日(土)

集 合：宝塚駅前 阪急バス乗場 8時20分

(8:30発 波豆行きバスに乗車)

コース：清之瀬橋BS～布見ヶ岳～大岩ヶ岳～丸山～
JR道場駅

地 図：2.5万分の1「武田尾」

備 考：地図を見ながら三角点を探して約15km歩く
ヘッドランプ必携

申込み：12月1日(土)迄 (担当：山内幸子)

18-37 六甲山を歩く

「加古川・生田川の源流と穂高・槍?を求めて」

日 時：12月9日(日)

集 合：神戸電鉄谷上駅改札出口 8時半

コース：谷上駅～炭ヶ谷～瀬池～マムシ谷～シェール
道～徳川道～新穂高～穂高湖～シェール槍～
摩耶山～青谷道～阪急王子公園駅

地 図：2.5万分の1「神戸首部」「有馬」

備 考：「しっかり歩こう」対応山行
約13km 歩行時間約8時間

申込み：12月2日(日)迄 (担当：黒田記代)

18-38 忘年山行

「奈良県川上村」

日 時：12月15日(土)・16日(日)

集 合：15日夕方 旅館「朝日館」(柏木)

コース：15日—忘年会、16日—周辺の日帰り登山

備 考：名物の山の幸を囲みながら山の話を楽しもう
翌日は天候、積雪状況により白鬚岳登山、氷瀑鑑賞など参加者で相談します
詳細は申込者に連絡

申込み：12月7日(金)迄 (担当：竹中雅幸)

18-39 4000山グランプリ

「霰ヶ山1074m・大空山1104m」

日 時：12月22日(土)～24日(振休・月)

コース：津山駅～のどろキャンプ場～霰ヶ山～大空山
～津山駅

地 図：2.5万分の1「富西谷」

備 考：詳しくは担当者に問い合わせして下さい
難易度の高い山 テント山行 一般参加可
山岳保険加入が必須

申込み：12月15日(土)迄 (担当：重廣恒夫)

ステップアップ登山教室 一般対象 募集中

【初級】

10月6日(土) リトル比良

11月4日(日) 地獄谷～風吹岩～荒地山

12月20日(木) 座学

【中級】

10月16日(火) 枯木ヶ谷・右俣谷・金剛童子山

11月13日(火) 鎌ヶ谷・ナダレ尾山・左俣谷

12月20日(木) 座学

【上級】

10月25日(木) 六甲山 五助谷

11月22日(木) 六甲山 大月地獄谷

12月20日(木) 座学

2018年10月～12月 自然保護行事案内

1 日本山岳会関西支部本山寺山の森(本山寺山森林づくりの会活動)

活動日：毎月第1木曜日、第3日曜日に開催

*体験作業参加、本山寺山森林づくりの会入会 歓迎

2 東お多福山ススキ草原復元活動

活動日 10月3日(水)・11月24日(土)・12月8日(土)

秋の植生調査・登山道保全整備、晩秋の全面仮払

3 自然観察会・森林観察会

・上記活動日に随時受け入れ可能

・参加希望者は直接お問い合わせください

問い合わせ・申込み先

斧田一陽 TEL&FAX 072-633-6556/090-4037-4542

※締切：開催日の一週間前まで

※集合：本山寺山の森 JR高槻駅北口アルプラザ前
東お多福山 阪急芦屋川駅前

いずれも午前8時40分



**私たちは
人と自然をつなぐ道具を
提案します。**

IWATANI-PRIMUS
イワタニ・プリムス株式会社
www.iwatani-primus.co.jp
〒104-0032 東京都中央区八丁堀 4-12-20

登山計画書(届)の提出を！

遭難対策として登山計画書(書式改訂しました)を提出してください。

計画書の作成は、より豊かな山登りへの第一歩です。

- ・個人山行を含む全ての登山や日帰りハイキング
- ・緊急連絡先(留守本部)は家族でも可
- ・出発の直前でも提出可
- ・やむをえない場合は未完成でも可

□提出先：関西支部安全委員会

①メール：keikakukansai@yahoo.co.jp

②FAX：0742(48)5946 黒田記代

③郵送：〒630-8034奈良市五条西1-29-4 黒田記代

※各警察署等へは別途提出してください。



MONTURA

山と自然を愛するすべての人に、
イタリア生まれのモンチュラの製品は
アルピニスト、クライマー、トレイルランナーなどの方々に
実用的かつ機能的な製品を提供します。

MONTURA OFFICIALSITE montura.jp MONTURA ONLINE SHOP montura.jp/store/




至本町 子ばやし
よしや 心斎橋筋北商店街
ダイソー 南幼稚園
御堂筋 Step 東急ハンス
心斎橋駅①出口 長堀通

**MONTURA直営店
ALPSTATION 心斎橋店**
大阪市中央区南船場3-1-8
南船場ドリームビル2F
TEL 06-6484-7126
営業時間/11:00~19:00(火曜定休)
alp-osaka.jp



登山用品専門店
ロッジ

ハイキング用品から本格登山・クライミング用品まで、最新の山登り道具をたくさん揃えています。経験豊富なスタッフ一同、100%接客をモットーに皆様のご来店を心よりお待ちしております。

大阪店 TEL 06-6341-5578
大阪市北区梅田1-11-4 駅前第4ビル2階

京都店 TEL 075-222-0363
京都市中央区御池通高倉西入高宮町200
千代田生命御池ビル1階

営業時間 11:00 ~ 20:00

☆秋冬新商品続々入荷中☆
是非ご来店ください!

ロッジプレミアムショップ URL一覧QR
楽天 <https://www.rakuten.co.jp/e-lodge-2>
Yahoo <https://store.shopping.yahoo.co.jp/lodge-premiumshop/>
ブログ <http://blog.goo.ne.jp/lodge4>
Instagram京都 <https://www.instagram.com/lodgekyoto/>
Instagram大阪 <https://www.instagram.com/lodge.oosaka/>
検索エンジンで「ロッジ」を検索してください。



〈編集後記〉

☆経験したことがないような暑い夏でした。地球環境の変化を嫌が応にも見せつけられたような気がします。豪雨しかり。山も、一見、相変わらずのように見えますが、じわじわと変化していつに違いありません。長い目で見れば、環境は変わるもの。そういう見方もあるでしょうが、それが、我々人間の活動に起因するものであるとすれば、由々しきことです。多くの生き物たちを道ずれに退場するのか、はたまたまだ間に合う可能性はあるのでしょうか。

〈加藤〉

発行日 2018(平成30)年9月10日
発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22 梅田東ビル3階 304号室
公益社団法人 日本山岳会関西支部
e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp
郵便振替口座 00930-6-55950
発行者 金井良樹
編集 加藤芳樹 久保和恵 野口恒雄
制作 株式会社 双陽社 大阪市北区堂島2-2-28



HILLSOUND TRAIL CRAMPON PRO

①ラチェット式で簡単脱着!
②10本爪で高いグリップ力!
③ペアで667gの軽量アイゼン!

適合サイズ:25-30cm

※本商品は2,000m以下の堅雪でご使用下さい。

**トレイル
クランポンプロ ¥9,800+税**

輸入元:(株)ケンコー社 TEL:06-6374-2788

山岳
雑誌

岳人

山と人、時代をつなぐ山岳雑誌「岳人」

毎月
15日
発売

【10月号特集】日本の山⑩ 中央アルプス

★メンバーのウェブサイト、全国のメンバーストアや書店にて発売中!

価格 815円(+税)

▶ 年間購読がおすす **購読割引** **送料無料** **限定品プレゼント**

通常価格
12冊

9,780円
(+税)

年間購読
12冊

8,965円
(+税)

1年間で、1冊分
815円おトク!



2018
10
October
No.856

岳人

日本の山⑩ 中央アルプス

■ 中央アルプス 縦走の神髄を伝える



年間購読のお申し込み WEB <https://www.gakujin.jp/> モンベルストアでも受付中

お問い合わせ

モンベル
ポスト



0120-982-682 / TEL 06-6538-5797

※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。

〒6068161
京都市左京区二乗寺木ノ本町15

ナカニシヤ出版

TEL 0757230111
FAX 0757230095

表示は本体価格です。



伊吹山案内

草川啓三 著
A5判 184頁
写真・地図多数
1,900円

百名山にも選ばれている花いっぱい
の名山・伊吹山。少し視点を変
えて深く入山してみると、「花」
以外にもさまざまな魅力が見えて
くる。



京都府山岳総覧

A5判 272頁
口絵カラーほか
写真・地図多数
2,200円

京都府の339の山を实地踏査し
て、登路を含めて解説。主な山に
は概念図・写真を加えた、京都の
山の最も詳しい案内書。標高100m
以上全三角点を掲載。



大阪の山歩き100

A5判 184頁
オールカラー
写真・地図多数
1,800円

大阪の山々はそれぞれに歴史があ
り、個性に富んでいる。バスや電
車を利用して家族づれで登れる
コースを100山・100コース
選んだウォーキングガイド。

街中から気軽に楽しむ山歩きガイド 清水満 著



山登りはこんなにも面白い

A5判 160頁 写真多数 1,800円

自分の意思をもって山に向かっ
ている5人の登山者。それぞれが
考える山登りの素晴らしさ、楽し
さ、面白さを語る静山紀行。

静かなる私の名山を求めて

【山旅専門の旅行会社】アルパインツアーからのご案内

大阪(関空)からツアーリーダー全行程同行

香港の山旅 満喫ハイキング 3日間

出発日～帰着日	旅行代金(大阪発着)
12/8(土)～12/10(月)	¥128,000

休日利用のコンパクトな
日程で自然豊かな香港の
山旅を楽しめます。体力
に合わせた2コースから
選べる特別企画です。ぜ
ひご参加ください!



▲美しい海岸線の奥にそびえるシャープピーク

【創業50周年記念特別企画】

ボリビア雨期に訪ねるウユニ塩湖 9日間

出発日～帰着日	旅行代金(東京発着)
12/28(金)～1/5(土)	¥628,000

「天空の鏡」と称さ
れる憧れのウユニ塩
湖へ。大晦日のサン
セットと初日の出を
ウユニ塩湖で迎える
特別企画です。



▲ウユニ塩湖で迎えるサンセット



観光庁長官登録旅行業第490号(第1種)/一般社団法人日本旅行業協会 正会員

ボンド保証会員

アルパインツアーサービス株式会社

大阪 06-6444-3033
〒550-0003
大阪市西区京町堀1-4-3(TCF肥後橋ビル2階)